

# 緑の相談所だより

No. 83

発行 2003. 8. 1

編集 財団法人旭川市公園緑地協会旭川市緑の相談所。

## 講習会のお知らせ

☆8月3日(日曜日)  
親子で作る  
「野草のガイドブック」  
定員 親子で50名  
講師  
旭川市立千代田小学校  
教諭 福地 徳次  
※長袖。長ズボン着用。  
雨天時→雨具持参。

☆9月14日(日曜日)  
「秋植え球根の植え付け  
・草花鉢上げ」  
定員 50名  
講師  
緑の相談所 相談員  
佐藤 吉光

☆9月28日(日曜日)  
「秋から冬への鉢物管理」  
定員 50名  
講師  
緑の相談所 相談員  
佐藤 文男



桔梗



向日葵

☆いずれの講座の参加料は無料です。

☆お申込み・お問合せは ☎ 65-5553 緑の相談所まで♪

### ～スズメバチを誘って捕える仕掛け作り～

スズメバチの発生の季節になり、家の周り等であの唸り音を発し飛び交う姿は実に不気味です！  
また、間違うとその針に刺されて大変危険でもあります！  
その様な時、蜂を怒らせないで捕らえる方法を紹介致します。



5mm  
3cm  
2cm  
この切れ目を入れ  
中に押し込む。  
(4～5ヶ所)

誘香液 (約200cc)

ペットボトル (2ℓ)



誘香液 → スズメバチの好む香りをもった液。  
日本酒150cc 酢50cc 砂糖50～75g  
を混合して作ります。

注!! → スズメバチが飛び始めたらすぐに2～3個  
取り付けると効果が大きくなります。  
(女王蜂を捕える事により、駆除効果が上がります。)

# 花ことば

例年になくオホーツク高気圧が居座り朝夕肌寒さを感じますが、夏の花々も盛りをむかえようとしています。今回も皆様の庭や花壇で咲き誇っている2~3種の花の花言葉を紹介しましょう。

## 紫陽花（アジサイ）

今あっちこっちの庭で見られるこの花は、日本や中国の原種がヨーロッパへ渡り品種改良され逆輸入されたものがほとんどです。これらの花の色は、白、赤、青、などに固定されていますが、それらは本来の性質が残っており、赤いものはアルカリ性で色鮮やかになり、酸性では青みがかかる傾向をもち、また青いものは酸性で色鮮やかになり、アルカリ性では赤みをおびてきます。

花言葉： 移り気 自慢家 あなたは美しいが冷淡だ。



## サルビア

夏花壇で、緋色をあらわす代表的な花でおなじみのことでしょう。昔は薬草として(強壮、健胃薬)使われたり、ハーブとして(セージの葉)料理の香辛料に利用されていました。原産はブラジル産のしそ科のサルビア属の1年草であり、和名アキノタムラソウでわが国の山野に自生しています。

花言葉： 燃ゆる思い 知恵 家庭の徳 尊敬 全て良し



## 朝顔（アサガオ）

子供たちの夏休みの課題などでおなじみのアサガオは夏の花のように思われていますが、日が短くなると咲かない典型的な短日性の秋の花です。原産地は南中国といわれ、わが国には奈良時代に薬用植物として入ってきたとのことです。ちなみに『薬草、毒草300』（朝日新聞社発行）によれば「……秋に採集した種子を牽牛子(ケンゴシ)と呼び、下剤の製薬原材料として使用される」と書かれています。

花言葉： 愛情の絆 仮装



『花を贈る辞典366日』『花言葉』『薬草、毒草300』より抜粋しました。

# ＊ ガーデニングの落とし穴 (その一) ＊

食中毒を起こす植物。誤食してはいけません！！

植物名	科名	有毒部位	有毒成分	有毒作用
アサガオ	ヒルガオ科	種子	ファルピチン(樹脂配糖体)	腹痛 下痢
アセビ	ツツジ科	茎葉	アセボトキシン アセボチン	嘔吐 腹痛 下痢
イチヨウ	イチヨウ科	実 外樹皮	フェノール性化合物	嘔吐
エンレイソウ	エンレイソウ科	葉	トリリン	嘔吐
オキナグサ	キンポウゲ科	全草 根	プロトアネモニン	心臓毒 胃腸炎
オシロイバナ	オシロイバナ科	種子 根	トリゴネリン	嘔吐 腹痛 下痢
オモト	ユリ科	全草 根茎	ロデイン(強心配糖体)	呼吸激しく 運動麻痺
カルミア	ツツジ科	葉	アントロマトキシン	嘔吐 腹痛 下痢
キキョウ	キキョウ科	根	キキョウサポニン	嘔吐 胃腸ただれ 下痢
キョウチクトウ	キョウチクトウ科	葉 枝	オレアトリン(強心配糖体)	嘔吐 心臓麻痺
クリスマスローズ	キンポウゲ科	全草 特に根	ヘボリン(強心配糖体)	心臓麻痺
クレマチス	キンポウゲ科	全草	プロトアネモニン	胃、腸の粘膜がただれる
ケマンソウ	ケシ科	全草	プロトピン(アルカロイド)	嘔吐 呼吸、心臓麻痺
コマクサ	ケシ科	全草	ジセントリン プロトピン	嘔吐 呼吸、心臓麻痺
ジギタリス	ゴマノハグサ科	葉	ジギトキシン キトキシン	嘔吐 不整脈
シクラメン	サクラソウ科	根茎	シクラミン(サポニン配糖体)	嘔吐 胃腸 粘膜のただれ
ジャガイモ	ナス科	葉 青いイモ	ソラニン(アルカロイド)	胃腸障害を起こす 注意
シャクナゲ	ツツジ科	葉 花	ロトキシン	吐き気 下痢 呼吸困難
シュウカイドウ	シュウカイドウ科	全草	蔞酸 ヘゴニン	胃腸の粘膜のただれ 下痢
スイセン	ヒガンバナ科	全草 特に鱗茎 根	リコリン(アルカロイド)	嘔吐 吐剤
スズラン	ユリ科	全草 特に根茎 根	コンハルトキシン	嘔吐 頭痛 心臓麻痺
ダツラ チョウセンアサガオ	ナス科	葉 実 根	スコハラシン ヒオスチアミン	麻痺 瞳を開き 狂乱状態
トリカブト	キンポウゲ科	全草 特に塊根	アコニチン(アルカロイド)	嘔吐 下痢 呼吸困難

## 八月の園芸作業

### 1 草花・球根

- ◆ベチュニアなどは枝を切って、株元から脇芽を出して再び花を楽しみましょう。また、花が終わったら種ができないうちに摘み取りましょう。
- ◆病害虫を防除するために、まず植物を健康に育てることが大切です。そのためには花後にリン、カリ分の多く含む肥料を与えましょう。
- ◆ユリ類は根元に直接日光が当たると生育が不良になりやすいので刈り取った草などでマルチングしましょう。
- ◆コルチカムなどの球根は中旬に植えましょう。
- ◆シクラメン古株はお盆過ぎて涼しくなってきたら根土を崩さず一周り大きい鉢に植え替えましょう。

### 2 庭木・果樹

- ◆徒長枝は整枝・剪定しましょう。
- ◆緑枝ざしは上旬までに行いましょう。
- ◆アセビ、モクレン、カイドウ、ツツジ、ボタンなどの花木類、アンズ、サクランボ、リンゴ、ナシなどの果樹類は花芽分化の時期のため窒素肥料は施さずリン、カリを与えましょう。
- ◆庭木類の肥料も草木灰、硫酸カリなどカリ肥料を中甸と下旬と2回くらい水にとかして与え耐寒性を強化しましょう。

### 3 洋ラン

- ◆水やりは晴天時は早めに7~8時ごろたっぷり与え、シリンジは朝夕行いましょう。
- ◆施肥は中旬まで新茎が伸長肥大中の株に対して上旬まで置き肥を与え、後は液肥でリン、カリの多いものを1500倍ぐらいで与えましょう。
- ◆カトレア類はシースが出かかった株は追肥を中止しましょう。
- ◆シンビジュームは雨ざらしの陽光下で育て、晴天時は1日3回くらい水やりをしましょう。
- ◆デンドロビウム(ノビル系)もシンビジュームと同じ管理をしましょう。

## 九月の園芸作業

### 1 草花・球根

- ◆プランター栽培の場合は乾き過ぎ、過湿に注意し肥料は液肥1500倍程度で週1~2回与えましょう。
- ◆季節の変わり目のため草花類は弱って病気や害虫の発生が多くなります。適する殺菌剤と殺虫剤を選ん
- ◆インパチェンス、アキランサス、コリウス、ロベリアなど花壇の草花の一部を鉢上げしましょう。
- ◆トリトマ、アスチルベ、シャクヤク、ヘメロカリスなどの宿根草は株分けしましょう。
- ◆カンナ、アマリリスは霜の来る前に、掘り上げ無暖房の室内等で育てましょう。
- ◆ユリ類、スイセン類、クロッカス、シラーなどは中旬から下旬に定植しましょう。

### 2 庭木・果樹

- ◆オンコなど葉が茂り過ぎ風通しが悪くなるとカイガラムシがつきやすくなりますので、生育旺盛な株は枝すかしと小枝すかし剪定を行いましょう。
- ◆ボタンは気温が下がってくると地際近くから新根が出始めますのでリン、カリ肥料を土に混ぜて5~7cmくらい土寄せを行いましょう。
- ◆リンゴの袋かけを行った場合は中旬~下旬に袋を破るか取り除きましょう。

### 3 洋ラン

- ◆8月に続いて生長を止め耐寒性をつけるためにカリ肥料を上旬、中旬、下旬と3回程度施肥しましょう。
- ◆これから水やりは、種類によって違ってきますので気温の推移、生育状態をよく見てやりましょう。
- ◆肥料も種類によって大きな差がでますので、全般的にみて施肥量、回数とも大幅に減らし、開花株の場合は置き肥は原則として全面中止しましょう。
- ◆置き肥したかすも上旬には取り除きましょう。
- ◆シンビジューム、デンドロビウム(ノビル系)は8月に続き戸外で育てましょう。